

棚田のもつ様々な機能を知る



棚田は、食糧の生産をはじめ生態系の保全機能、洪水・土砂流出防止、水資源かん養、保健・休養の場、文化資源の提供など様々な機能をもっています。

多様な生物の宝庫

棚田は森と平地の間にあつて、その近くには川や水路が流れています。こうした多様な環境の中にある棚田には、平地の水田や大きな公園などよりもたくさんの種類の植物が生えています。また森が近くにあるため、昆虫などもたくさん生息します。

洪水や土砂の流出を防ぐ

棚田は、森や川の上流から流れ出る水を受け止めて、大雨などによる平地への洪水・土砂の流出を防いでいます。降った雨は一旦、水田に溜められて、時間をかけてゆっくりと流れ出します。

地下水を貯え増やす

棚田が貯えた水は、少しずつ地下に染み込んでいき、地下水を増やすとともに、川にも流れ込みます。雨水やかんがい用水が地下に浸透し、きれいな地下水となって貯留され、飲み水など下流域で再利用できます。

農作業体験や自然とのふれあい

豊かな生態系や恵まれた自然景観の中で、都市住民などに農業体験や自然とのふれあいの場を提供します。豊富な自然環境に棲む動物や植物に親しむことにより、自然のすばらしさを学ぶことができます。

ふるさとの景観を守る

棚田地域独特の地形からおりなされる美しい景観は、四季折々姿を変え、心にやすらぎとぬくもりを与えてくれます。その姿はふるさとの景観として、見るものに感動を与えずにはおかないものがあります。

獣害の増加

近年、イノシシ・サル・シカなどの野生動物が増えたことにより、山地に隣接する棚田では、収穫間際の稲が荒らされたり、畑の作物が食べられたりする獣害が年々深刻になっています。

耕作放棄・棚田の荒廃

棚田は、耕作されることにより管理・保全されてきました。しかし、耕作放棄が拡大すると、棚田の有する国土・環境保全機能が損なわれ、降雨によって洪水や土砂流出、法面崩壊が起こりやすくなり、周辺及び下流域に悪影響を与えることとなります。

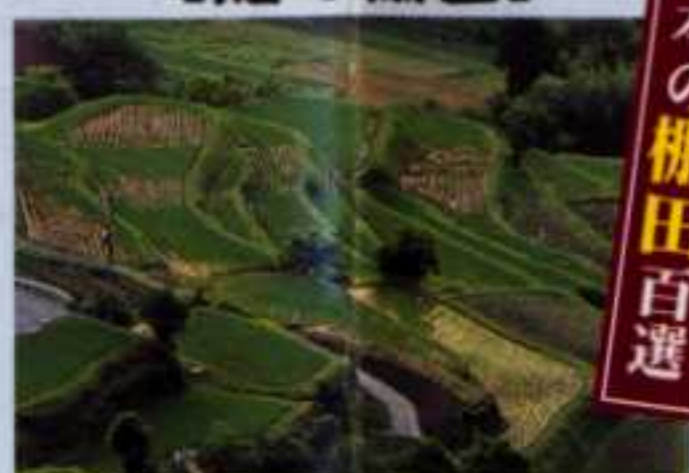
棚田の危機！

棚田地域は、厳しい地形条件と生産基盤の遅れから、多大な労力がかかります。しかしこの棚田を守る人たちの高齢化や担い手の減少が深刻な問題となっています。



高島の御三景

【畑の棚田】



近江盆地には、かつて山の斜面を利用したたくさんの棚田がありましたが、現在ではほとんど見かけなくなっていました。

【萩の浜】



透明度の高い琵琶湖をやさしく見守るように広がる萩の浜は、美しい砂浜です。人や鳥たちの憩いの場所でもあります。

【ハツ瀧の滝】



比良山系最高峰の武奈ヶ岳に端を発する鴨川の源流にあり、その名のとおり八つある瀧には、大小様々な滝の水が勢いよく流れ落ちています。

